



## Q・空港へのオフランプの進捗は A・事業化に向け県へ働きかける

**Q** オフランプの計画は、旧名古屋空港を年間旅客数1千万人超まで対応可能とするため、平成6年2月に都市計画決定された。しかし、旧名古屋空港になり空港需要は60万人まで激減したため、計画の進展がない。

**A** 今後、航空宇宙産業の集積による交通対応、県営名古屋空港の一層の

**Q** 41号線上の高速から空港へのオフランプの計画は、どうなったか。町の状況は、大型店の進出、MRJ生産体勢、愛知県防災拠点、その他空港整備と事業が立て続け。中でも一番住民への影響が懸念されることは、交通問題。愛知県と折衝を進めていたオフランプの問題が、今となり非常に重要。今からでも遅くない。

進捗状況と考えるは。



計画の推進が望まれる空港中央線

とよやまタウンバスの目的や運行に至った経緯、名鉄バスの西春・空港線への影響、済衆館病院への移動ニーズなどを踏まえ、新たなバス路線の設置は考えていない。

発展等、オフランプの役割は重要であり、計画の事業化に向け、県へ働きかけていく。

**Q** オフランプとは、自動車専用道路の出口のこと。

**Q** 町内の中心から北部に関係する住民で、特に高齢者や運転できない人が、西春駅方面や済衆館病院へ行くことが困難。以前の答弁での、路線バスとタウンバスとの競合問題があれば、発想を変え、新路線はどうか。丁度、

**Q** 高齢者等の足の確保を  
**A** 新たな路線バスの設置は考えていない

**Q** 町内の中心から北部に関係する住民で、特に高齢者や運転できない人が、西春駅方面や済衆館病院へ行くことが困難。以前の答弁での、路線バスとタウンバスとの競合問題があれば、発想を変え、新路線はどうか。丁度、

**A** とよやまタウンバスは、民間の路線バスを代替・補完するためのバスである。町北部の住民の方には、社会教育センター等に乗り換えゾーンを設けており、済衆館病院や西春駅にも利用していただける。

豊山西春線の拡張整備がされた。この線を利用する路線バスか、タウンバスを考えれば高齢者等の要望に沿えるが。